

オンデマンド方式による 『元気バス』の導入背景

三重県 玉城町



玉城町で運行していた福祉バス

- 平成8年 民間路線バスの大幅縮小
- 平成9年 29人乗りのマイクロバス2台を無料で運行開始

路線数	3ルート	
運行便数	1日19便	
年間利用者数	約27、000人	
1 便平均乗客数	4.5人	
予算	約1,000万円/年	



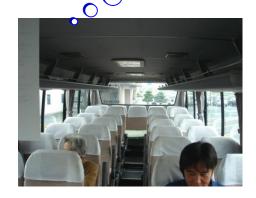
● 予算はかけられない



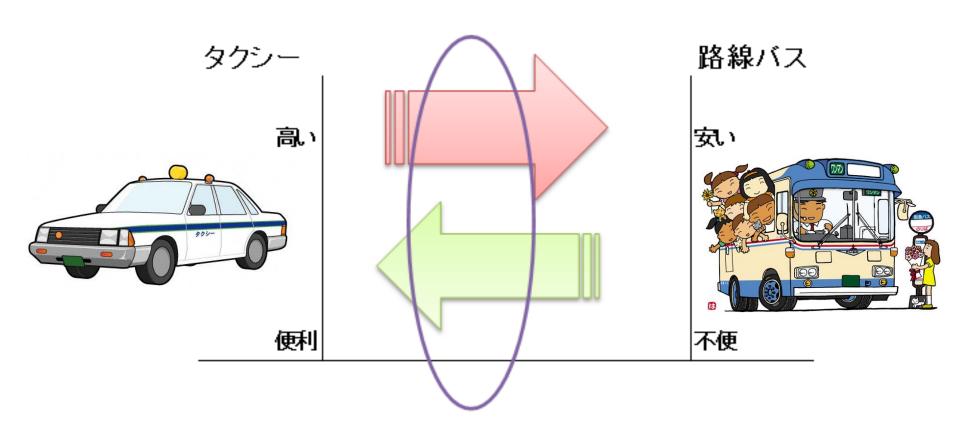
オンデマンド交通の導入



からバス 空気バス



オンデマンドバスの考え方

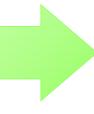


自宅には送迎せず、路線を持たない乗り合いのバス

オンデマンド交通への期待

●オンデマンド交通

- ●予約制の乗り合いバス
- ●乗り合いによりタクシーより高効率
- ●乗客がいなければ移動せず、路線バス より高効率
- ●多数のバス停を設置できるためバス停 への便が良い



高いポテンシャル 社会からの期待

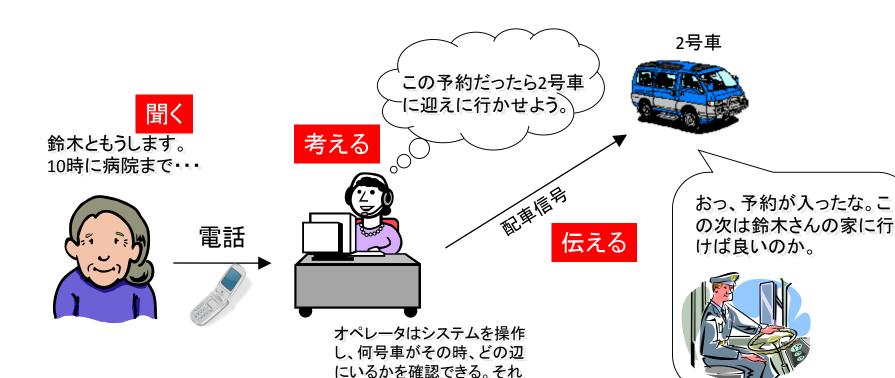


普及への課題

これまでのオンデマンド交通

- オペレータが予約を受け、
- オペレータが経路を作り、そして配車をする。

考える:土地勘や高度な経路生成能力が必要→**遅延が発生**



を見て、配車処理を行う。

オンデマンド交通普及への課題

①オペレータによる配車

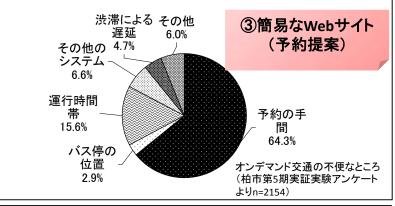
- 人が予約を受付け、人が経路を考え、配車する仕組み
- オペレータの雇用に大きなコストがかかる。



②予約という障壁

予約の手間 64. 3%

- ・乗車の度に予約をしなければならない。
- ・予約を手間という利用者が6割強もいる。



③買取りサーバにかかるコスト

・地域ごとに数千万円程度のサーバシステムを導入し、 年間1000万円程度の維持費用がかかる。

> 4)クラウド 形式の



4運転手への分かりにくい指示

・直感的に使いづらい車載器では、運転手に負担 になる。運転手の混乱の原因になる。



東京大学大学院と 『元気バス』の実証実験

「三重県ふるさと雇用再生特別基金事業市町等補助金」の 交付を受け(平成21・22・23年度)実施

オンデマンドバスの仕組み

Aさん予約時:システムは、

「ゆとり時間(例:10分)」だけ

早く着くように経路作成

Bさん予約時: Aさんの希望到着時刻を遅らせずに

Bさんの要望に対応可能な範囲で

経路更新する

出発予定時刻:9時12分 Bさん 13分 12分

出発予定時刻:9時00分

20分

Aさん

Aさんの

希望到着時刻:9時30分

Bさんが予約する前 到着予定時刻:9時20分

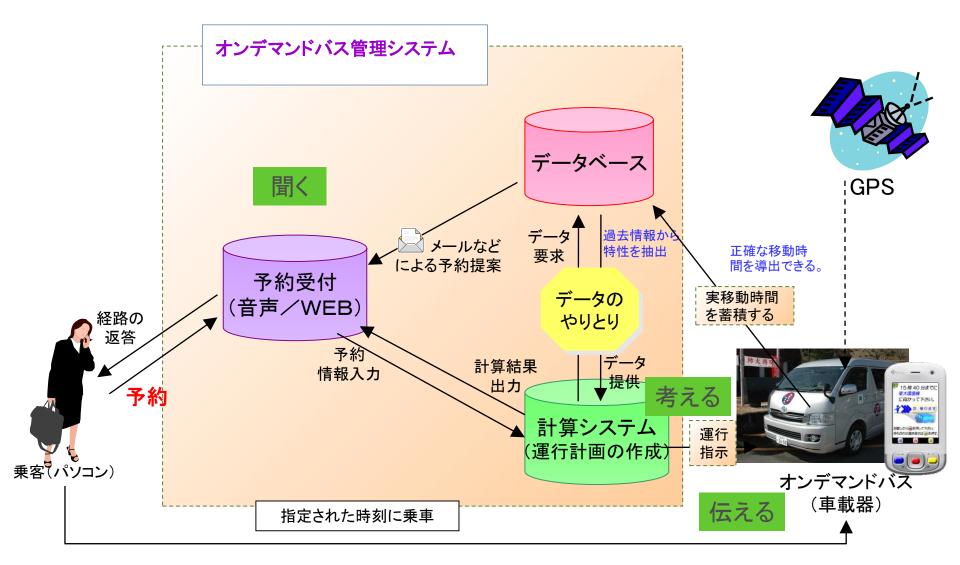


Bさんの予約を受付けた後

到着予定時刻:9時25分

玉城町が採用したオンデマンドバスシステム

●運行計画アルゴリズム・クラウド形式・使い易いインターフェイスが特徴。



玉城町オンデマンドバス

「元気バス」の概要

■利用するには

- ①会員登録・・・氏名、住所、電話番号、利用者番号、暗証番号 (生活機能状態なども確認する) →重要な情報となる
- ②バス停を確認する・・・自宅近く、希望する目的地のバス停 (現在のバス停数:169箇所)

■予約・運用は

- ①運行時間帯・・・午前9時 ~ 午後5時
- ②運行日・・・毎日運行(年末年始のみ運休)
- ③利用予約受付・・・ 当日30分前から 2週間先まで オペレーターへの電話・ケータイ・インターネット 独自アプリのスマートフォン・タッチパネルから予約可能 ただし、土日祝日はオペレター予約不可
- ④利用料···無料

■運行範囲は「町内」

予約を簡単にする インターフェース

オペレータの様子

パソコンに不慣れな利用者の代わりにオペレータが希望を入力する





一般利用者と同じ インターフェイスから予約を行う。

インターネットによる予約サイト



予約確認画面

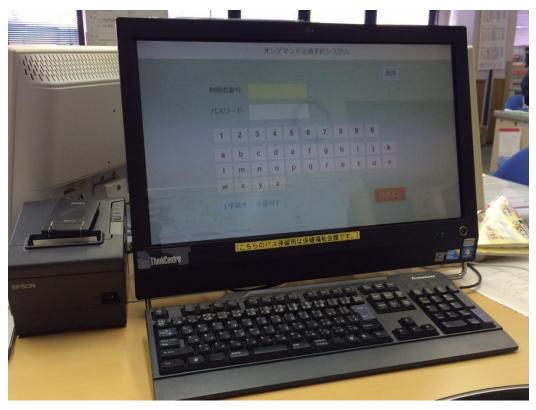
ご紹介
※予約サイトが新しくなりました!!このページをブックマークしてご使用ください。
電話予約で走るバス! <元気バス> のご予約は、玉城町社会福祉協議会 Tel (58) 8181まで
年末年始を除き運行は午前9:00〜午後5:00まで 利用日の2週間前から当日30分前まで予約を受け付けます。 電話予約は、午前8:30〜午後5:00まで。(ただし、電話による土日・祝日利用申し込みには対応い前予約をお願いします) 運行エリアは玉城町全域(指定場所で乗降)で運賃は無料です。
ご利用いただくには、利用者登録が必要です。所定の利用者登録要に記入して、社会福祉協議会また

ログイン画面



銀行・郵便局・スーパー・病院・医院・福祉施設など集客施設・官公庁へ端末設置





銀行のATM感覚で 予約できる端末



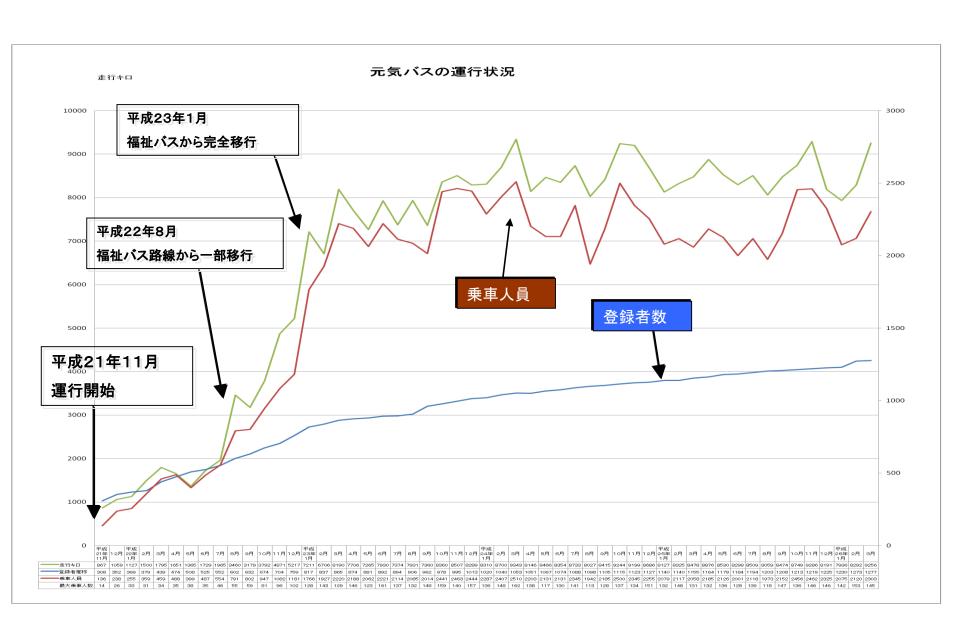
希望する高齢者に配布したスマートフォン

- ・60歳以上の高齢者等を中心に貸し出している
- •町から2, 000円/月の助成をしている



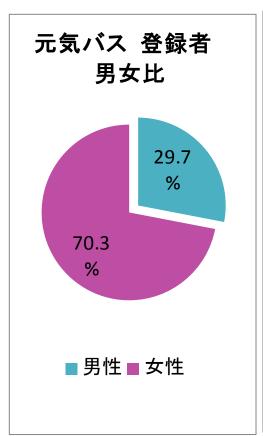


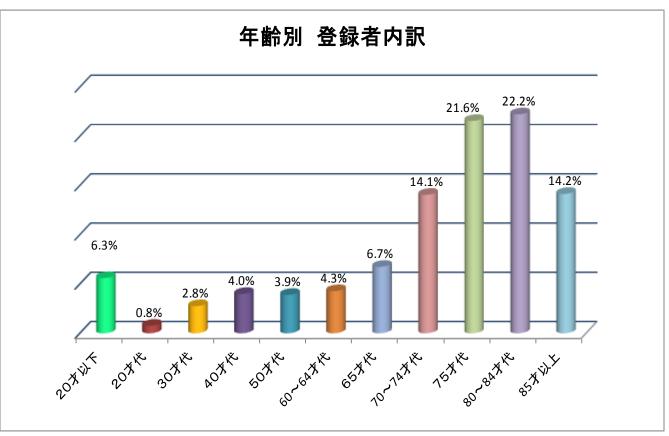
元気バス運行状況



元気バス利用者状況

平成26年3月末現在

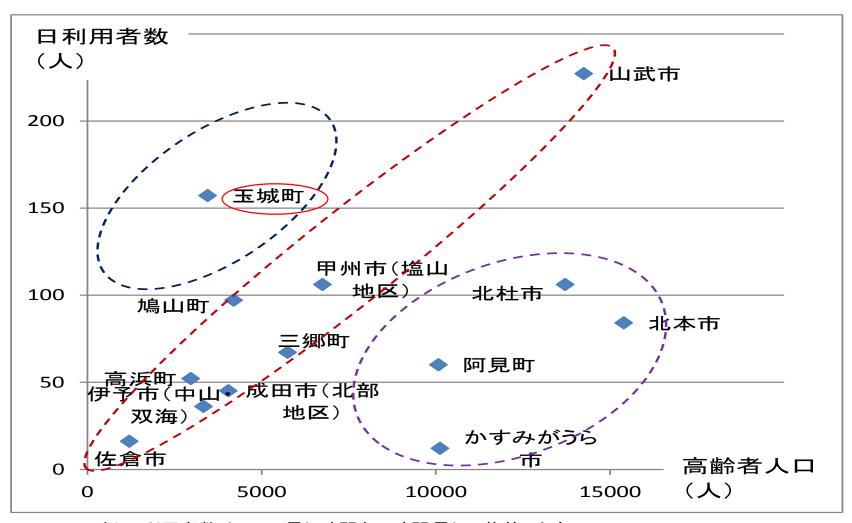




登録者: 1, 277人

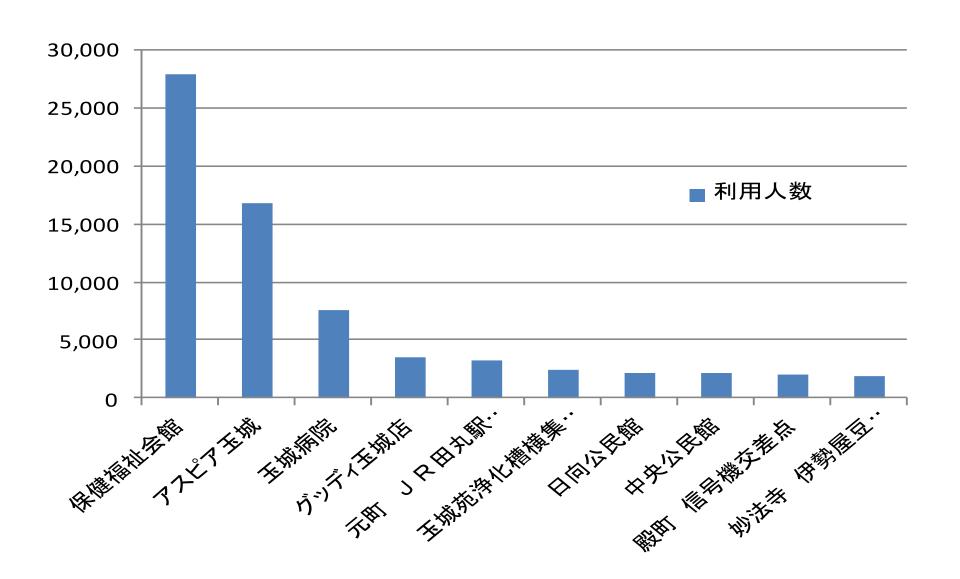
年齡分布: 65歳以上...78% 75歳以上...58%

高齢者の利用状況 (石黒修論2015)

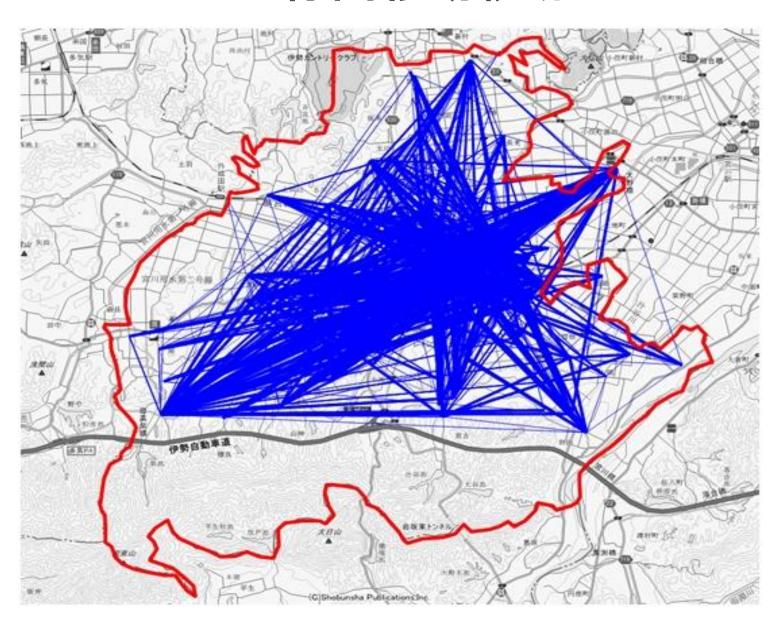


注)日利用者数は1日の運行時間を10時間運行に換算したもの 高齢者人口は各地の運行エリアの字別人口に高齢化率を乗じて算出

バス停別(乗降場所)利用人数 ベスト10

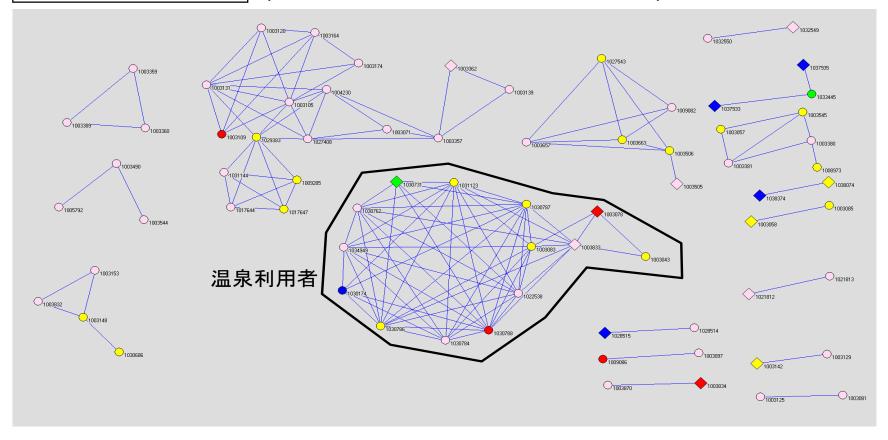


バス停間移動軌跡



玉城町運行ログの分析およびアンケート調査から、オンデマンド交通による交友関係の広がりが確認された (鹿渡修論2012)

オンデマンド交通 利用者のネットワーク ほぼ同時刻に同じ目的地に月5回以上 行った利用者をつないだ図 (点が利用者、線がつながり。点の場所に意味はない。)



出典:大和裕幸, 鹿渡俊介, 本多建, デマンド交通導入が利用者の交友関係に与える影響の評価: 三重県玉城町のオンデマンド交通を対象として, 運輸政策研究, vol.16(4), pp.15-22, 2014

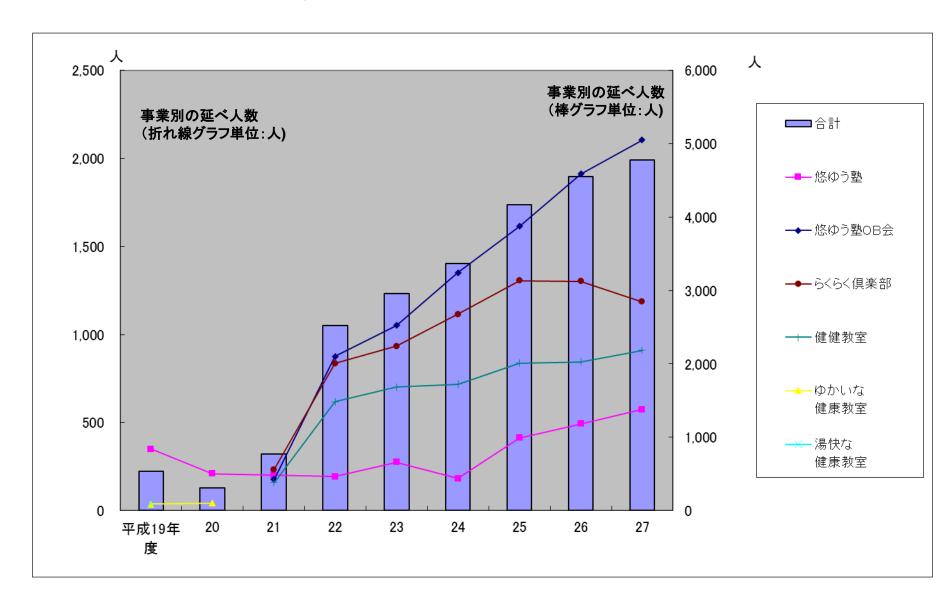


元気バス利用の風景



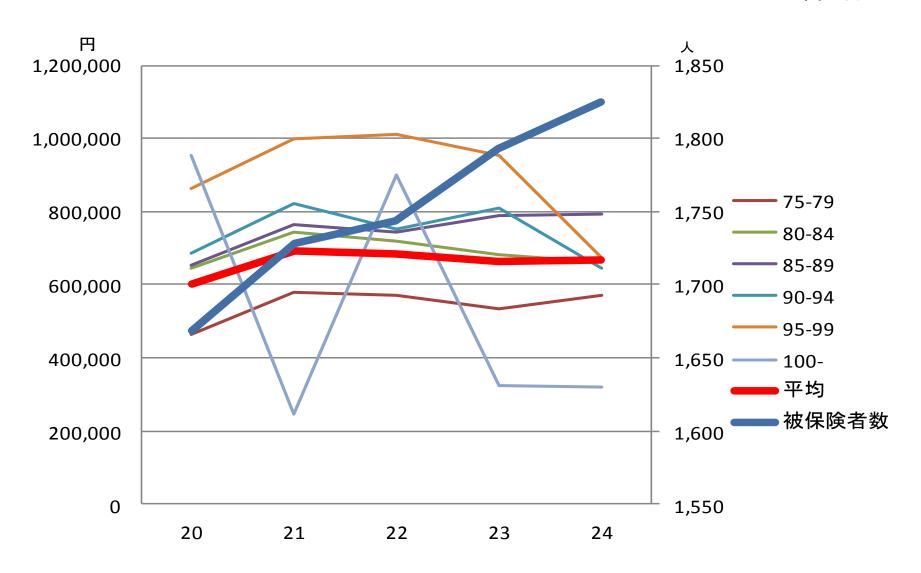


通所型介護予防事業 延べ人数推移

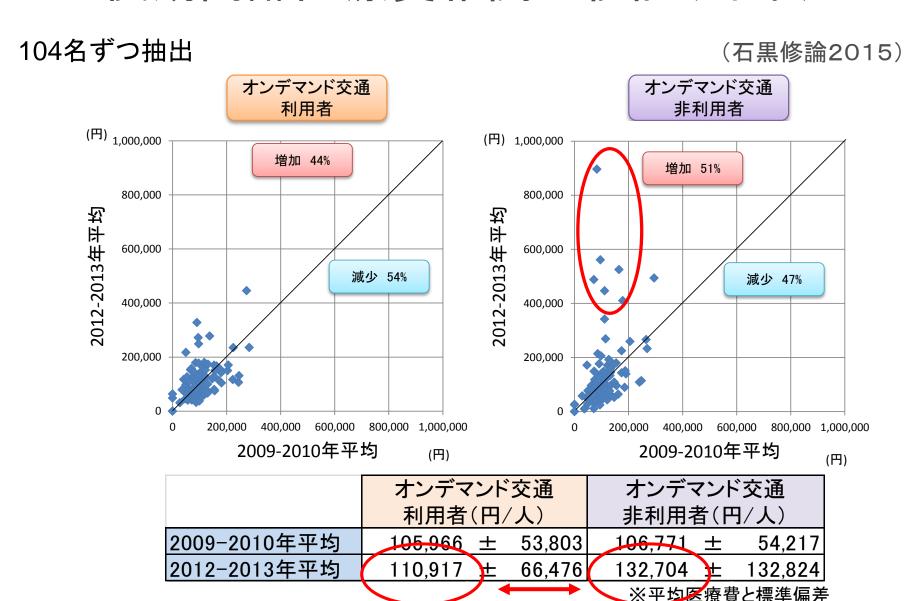


後期高齢 入院・入院外 一人当たり平均額

単位:円



後期高齢医療費相関の検証(外来)



削減額の試算(オンデマンド交通)

(石黒修論2015)

- 検証結果より、利用者群、非利用者群の間に一人当たり平均約21,000円/年の外来医療費の削減が起きていた
- これまでにオンデマンド交通を利用した高齢者は544人いる
 - これらの人に同様の削減が発生しているとすると、1,100万円/年の削減となる

- 運営費約1800万円/年には及ばない



比較まとめ

(石黒修論文2015)

全体として赤字ではあるものの...

	オンデマンド交通	タクシー	コミュバス
N	544	544	294
RMC(円/年)	11,414,208	11,414,208	6,168,708
Cost(円/年)	19,708,146	29,235,883	14,749,062
Value(円/年)	-8,293,938	-17,821,675	-8,580,354

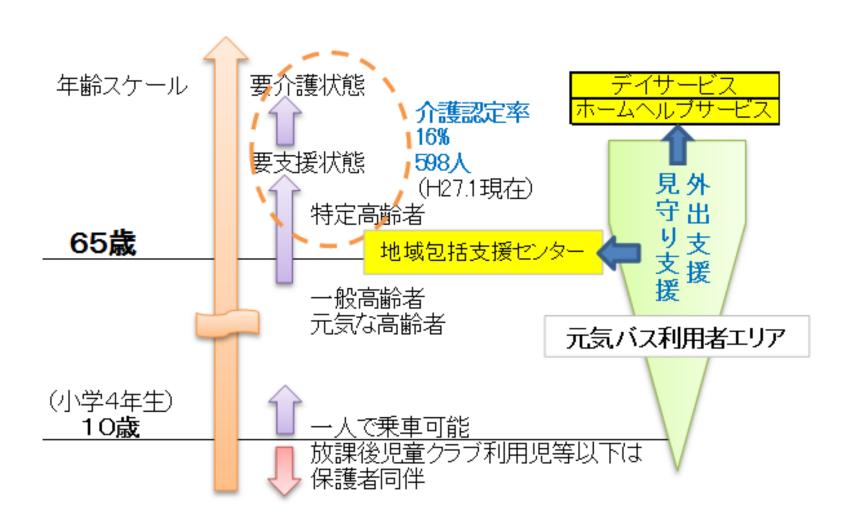
※RMC削減額 Cost経費

オンデマンド交通は、タクシーより優位、玉城町コミュバスよりわずかに優位 という結果となった

- コミュバスはオンデマンド交通よりも利便性が悪い(一時間に一本以下)ため、外出 支援の観点からコミュバスの削減額はオンデマンド交通よりも低いと考えられる
- また、利用者数の違いから、その他の便益を加えた場合オンデマンド交通がさらに 優位になる可能性がある

コミュバスからオンデマンド交通への切り替えは、 玉城町においては有効であったと考えられる

元気バス利用者 支援エリア



ICTを利活用した 安心・元気な町づくり事業

総務省「ICTふるさと元気事業」採択 (平成21年度)実施

ICTを利活用した安心・元気な町づくり事業

同一のICT機器・基盤を活用した複合サービス

外出支援サービス

<スマートフォン・タッチパネル>

- 予約簡易化
- ・ 位置情報の活用

住民が安心して元気に暮すことができる町へ

1. 外出支援サービス

- 高齢者に携帯型簡易予約端末(スマートフォン)を配布
- 町内43箇所にタッチパネル型簡易予約端末を設置









携帯型予約端末 (スマートフォン) 設置型予約端末 (タッチパネルパソコン)

ICTを利活用した安心・元気な町づくり事業

同一のICT機器・基盤を活用した複合サービス

外出支援サービス

<スマートフォン・タッチパネル>

- 予約簡易化
- ・ 位置情報の活用

安全見守りサービス

くスマートフォン>

- 緊急通報(位置情報送信)
- ・利用履歴による安否確認

くタッチパネル>

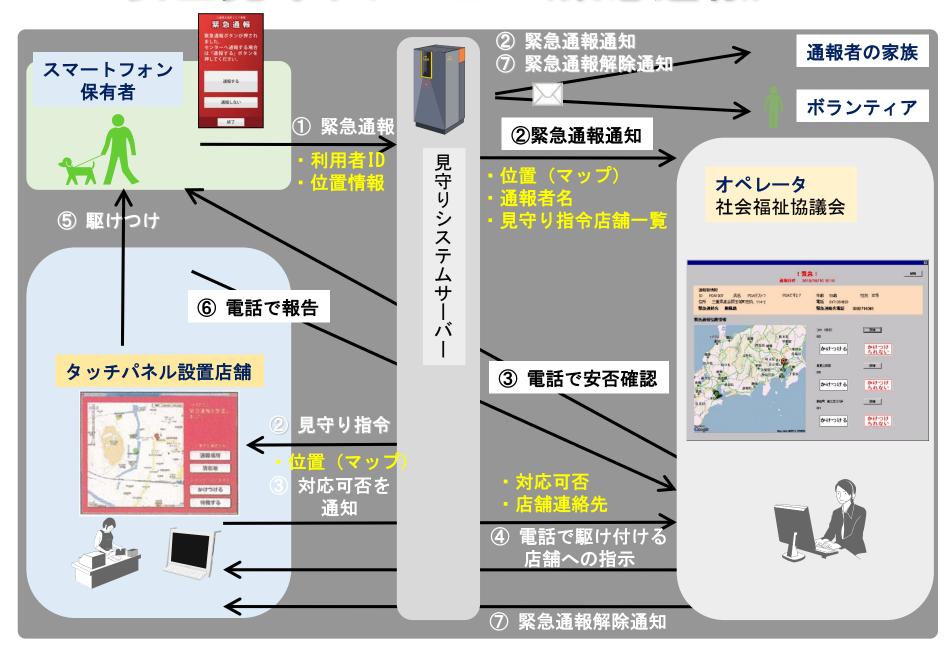
・緊急通報を受信し、 端末にアラートを表示

<オペレータツール>

- ・緊急通報の確認
- · PDA利用履歴による安否確認

住民が安心して元気に 暮すことができる町へ

2-1安全見守りサービス(緊急通報)



2-2 安全見守りサービス(安否確認)

① 7:50、13:50、19:50 オンデマンドバス利用履歴集計 (アクセス履歴のない人を探す)



② 8:00、14:00、20:00 2 4 時間利用がないPDA保有者に 対して安否確認を実施



③ 反応がない、要救護の利用者のリストアップを行い、 オペレータによる電話確認を行う。

オペレータ 社会福祉協議会





電話で安否の確認

家族・ボランティアへ スメールでの通知

スマート フォン 保有者



家族・ボランティア





36 .1 5 12:29

安否の確認 一定時間ご利用がありま

センターから、安否確認

ボタンを押して状況をお

元気です

救護が必要です

せんでした。

のお願いです。

しえてください。

ICTを利活用した安心・元気な町づくり事業

同一のICT機器・基盤を活用した複合サービス

外出支援サービス

<スマートフォン・タッチパネル>

- 予約簡易化
- ・ 位置情報の活用

安全見守りサービス

くスマートフォン>

- 緊急通報(位置情報送信)
- ・利用履歴による安否確認

<タッチパネル>

- ・緊急通報を受信し、 端末にアラートを表示
- <オペレータツール>
- ・緊急通報の確認
- PDA利用履歴による安否確認

安全情報配信サービス

<オペレータツール>

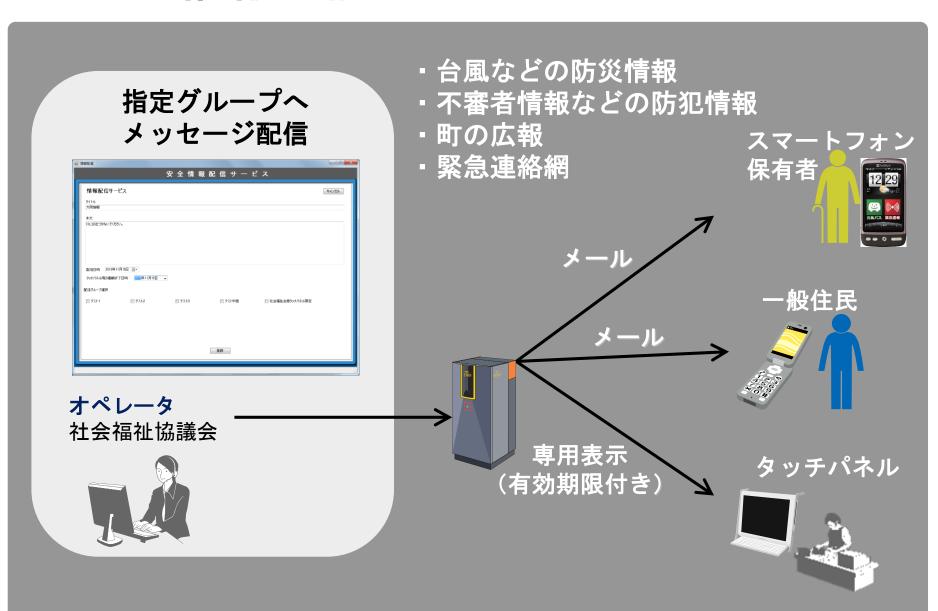
- 情報一斉配信機能
- 配信グループ設定
- ・タッチパネル表示期間設定

<タッチパネル>

- ・配信情報の表示
- くスマートフォン・一般携帯電話
 >
- ・メール受信

住民が安心して元気に暮すことができる町へ

3. 安全情報配信サービス



ICTを利活用した安心・元気な町づくり事業

同一のICT機器・基盤を活用した複合サービス

外出支援サービス

<スマートフォン・タッチパネル>

- 予約簡易化
- ・ 位置情報の活用

安全見守りサービス

くスマートフォン>

- 緊急通報(位置情報送信)
- ・利用履歴による安否確認

<タッチパネル>

- ・緊急通報を受信し、 端末にアラートを表示
- <オペレータツール>
- ・緊急通報の確認
- PDA利用履歴による安否確認

安全情報配信サービス

<オペレータツール>

- 情報一斉配信機能
- 配信グループ設定
- ・タッチパネル表示期間設定

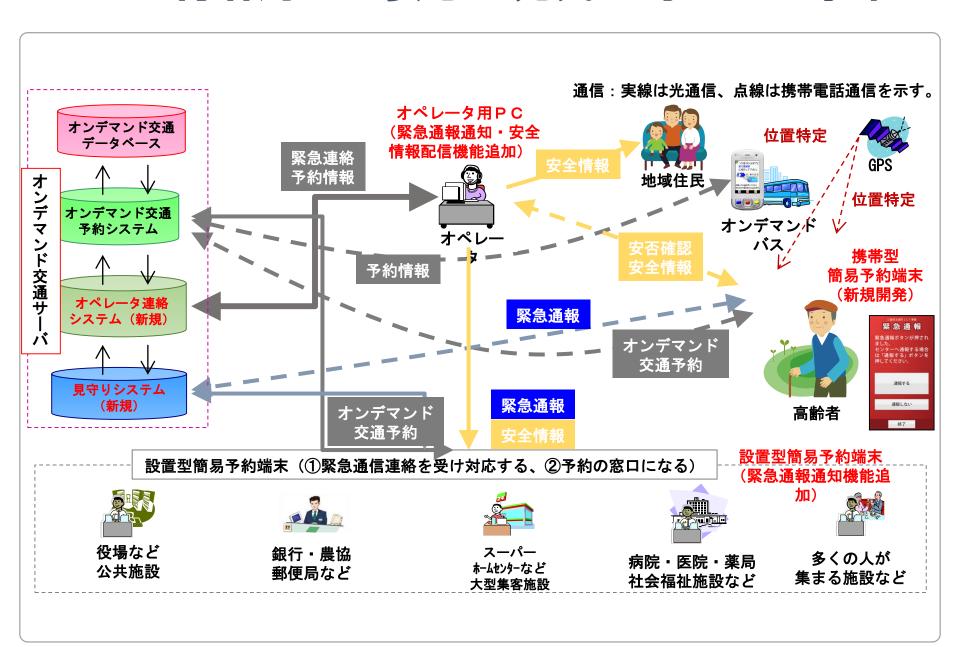
<タッチパネル>

- ・配信情報の表示
- <スマートフォン・一般携帯電話>
- ・メール受信

ICT機器活用による 外出機会増加・健康増進 地域全体での見守り 防災・防犯情報の共有

住民が安心して元気に暮すことができる町へ

ICTを利活用した安心・元気な町づくり事業



すごいやんかトーク

平成25年2月16日開催 鈴木三重県知事との懇談風景(玉城町保健福祉会館で)



基本理念

明るく・元気で・長生きを

- 運転する「よろこび」から 出かける「たのしみ」へ
- 車は移動手段であって「いきがい」にしてはいけない
- 「出かけさせる」という 外出支援サービスを展開する
- 「生活している・生きている」というシグナル から生活弱者を地域で見守る体制づくり
- 社会福祉協議会を軸に ICTを利活用した「ちいきのきずな」づくり

ご静聴ありがとうございました

三重県玉城町